

比較 現線 八時間  
 新線 五時間  
 賃金差額二圓 二五圓

三、擔商人

所要時間

比較 現線 八時間  
 新線 六時間

擔商人は二時間の節約となるこれを換算金額三十錢と見積る

四、歩行者一人一往復

所要時間

比較 現線 六時間  
 新線 四時間

即二時間の節約となるこれを換算して二十錢と見積る

節約一日通計

|      |       |          |
|------|-------|----------|
| 一日に付 | 單價    | 金遣       |
| 自動車  | 四〇往復  | 四、八〇〇    |
| 荷馬車  | 一五〇往復 | 二、一〇〇    |
| 擔商人  | 三〇〇往復 | 〇、三〇〇    |
| 歩行者  | 三〇〇往復 | 〇、二〇〇    |
| 總計   |       | 六、一七、〇〇〇 |

右の利益を一年に通じて計算するときは約二十二萬圓の節約となつて豫定改修總工費の二割に相當することゝなるのである。

以上道路改修によつて生ずる利益は世人の比較的注意を喚起せざる點であつて、私企業の資本金に對する利廻りを勘定することは、如才がないが此種公起業の利益を閑却して、生活して居る人間も氣の毒な感がする、

# ◎甲州御嶽探勝道路改築に就て

山梨縣道路主事 畠 中 恭 一

拜啓、酷暑の候に付山岳地方より御通信申上候、  
 甲州御嶽は、富士岳麓と共に名勝地として一般人士より賞讃を受け、探勝者の來往常に絶えざる狀況に付聊か申述候御嶽は甲府市の北方約三里にして西山梨郡千代田村字天神平以

北荒川溪流一帯の地を指稱し、就中天神平より同郡能泉村  
仙娥瀧間は特に風趣に富み居るを以て名勝保存地に指定せら  
れたる地區に候、同勝地は荒川清

員なくして、最急勾配四分の一と云ふが如き、人馬の漸く通  
行したるに過ぎざる有様にて、探勝に甚だ不便を與へたるを

流兩岸に沿ひ、延長約二里其の間

以て、大正十一年十月縣に於て、之が

登瀧岩、覺圓峰、其の他種々の奇

改築の計畫を樹て、爾來工を進め大正

岩重疊、高く聳え雄大にして山紫

十二年八月竣成致候、之が爲探勝者の

幽邃、眞に驚歎措く能はざる勝地

利便を著しく増進したる事と存候、其

に有之、殊に晩秋の紅葉は全山紅

の改築區間は名勝保存地の始點たる、

に化し耶馬溪に彷彿たりとの批評

天神平より金溪ホテルに至る延長二千

をさへ受け居候、畏くも大正十一

十分の一、最小半徑を四間として計畫

年十月皇太子殿下山梨縣下行啓の

を樹て總工費五萬二千六百四十五圓

際鶴駕を此地に進めさせ給ひしよ

(濫地代三〇八一圓工事  
費四九五六四圓)を支出致候、而

り、頓に其の名聲顯れ又御嶽終點

して其の區間は名勝地に屬する爲工法

に在る縣社金櫻神社建造物は、今

は道路構造令に適合する事能はざりし

より約七百年前の建立にして其の

は遺憾なるも亦特殊の目的を有する道

建物に先年特別保護建造物に指定

路なるを以て事情不得已ものと存居

せられ相共に探勝者觀嶽者相亞く  
の有様に候、

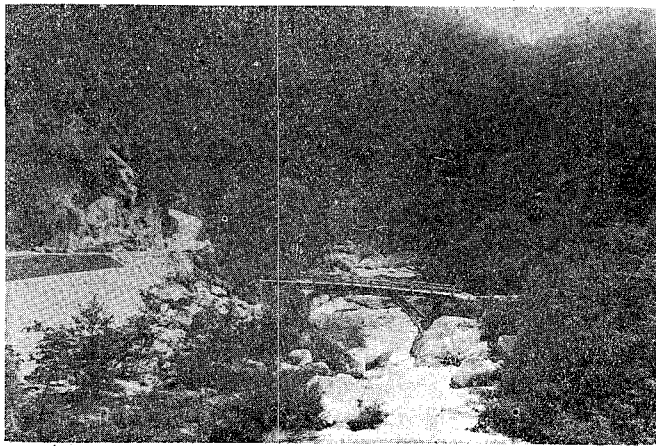
候、

右に述べたる名勝舊蹟を探るべき所謂御嶽探勝道路は大正

る道路も、亦駄馬の交通するのみにて、高速度車輛の交通運

九年四月府縣道路路線に認定せられたるも、舊來より一定の幅

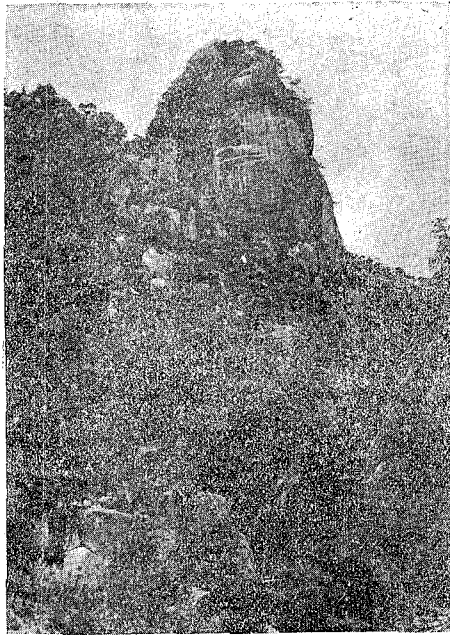
輸に適せず、不便不鈔しを以て甲府市及沿道關係村は道路改



甲州御嶽嶺漢寺景

修組合を設立し、府縣道御嶽韭淺線西山梨郡千塚村より分岐し同郡千代田村天神平に至る（俗に御嶽西線と稱す）延長三

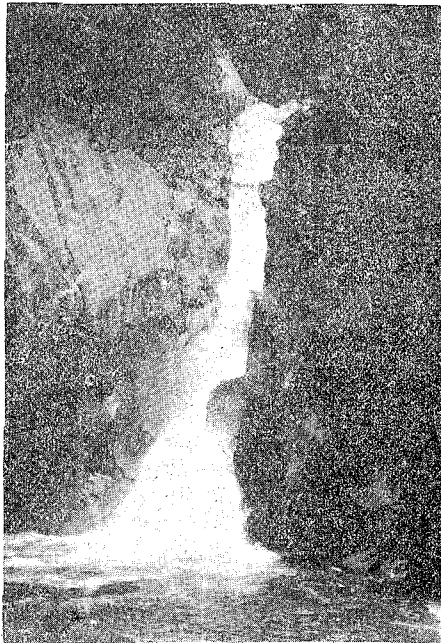
甲州御嶽覺圓峰ノ景



千八百五十八間を、幅員十八尺最急勾配二十分の一、最小半徑七間に改修の計畫を樹て大正十一年三月工事に着手し、大正十三年四月竣成せしめたるに付、爾來自動車の交通に差支なく甲府市より三十分内外にして目的地に達する事を得べく甚だ便利と相成申候、此の改修工費總額は十六萬六千圓にして、縣費より八萬一千圓を補助致候又甲府天神平線（俗に御

嶽東線と稱す）を甲府市及沿道關係村が道路改修組合を設立し起點西山梨郡相川村より、同郡千代田村天神平に至る區間延長三千八百三十二間を幅員九尺最急勾配八分の一最小半徑一間に改良の計畫を樹て大正十一年十月工事に着手し大正十三年一月之を竣成せしめ申候此工費總額四萬八百十六圓にして縣費より二萬三千圓を補助致候本路線は甲府市よりの最近

甲州御嶽仙娥瀧ノ景



路線にして且沿道より甲府盆地を俯觀し、又遙に富士を遠望せらるゝを以て徒歩探勝者には誂へもの候

以上を以て御嶽探勝道路の概要を記述致候、依つて甲府市より御嶽に達する道路は、二線共完成したるを以て、時間勞力を省き一日の清遊には尤も適し居候、尙終りに於て御嶽探勝道路を開鑿したる沿革を記し、以て其の關係者の功績を汎く傳ふるは路政の爲多少貢獻する所あらむと存候

天明二寅年（今より百四十年前）中巨摩郡宮本村字猪狩村長田森右衛門、始めて本舊道の開鑿を志し、荒川沿道村と交渉を爲し、同年八月遂に關係村の承諾を得て開鑿に關する計畫を樹つるに及び、同年十月十九日森右衛門突然死去す其の後長子伊右衛門亡父の遺志を繼ぎ開鑿計畫に従事中、寛政九亥

四月十日同氏も亦死去し、一時中絶の止むなきに至れり其の後天保三辰年長田圓右衛門、長田勇右衛門の兩氏、同道路の開鑿は一日も忽にすべからざるを思ひ、時の代官吉川英右衛門の許を得、愈々道路開鑿工事に着手し漸く道路の貫通を見るに至れり、然れども其の道路は牛馬の交通すら困難なりしを以て、更に天保十亥年長田圓右衛門は改築の儀を甲府代官松坂三郎右衛門に請ひ許可を得改築に着手し、天保十二丑年八月始めて人馬の交通全きを得るに至れり、而して本工事に關する工費額は不明なるも總て沿道村猪狩、川窪能泉、國中村の勸募金を以て爲せりとあり、其の後安政二年の大災害

に遭遇し大破したるを以て交通杜絶せり茲に於て長田圓右衛門は大に歎き奮勵以て村民を激勵し復舊に努めたりしも完成に至らずして安政三年六月九日遂に永眠せり、更に其の後明治十二年長田甫眞は能泉村字川窪村宮本村字猪狩村有志の勸募金約二千圓宮本村金櫻神社の補助金二千圓餘計約四千圓餘を以て、修理に着手し全く舊道の完成を告げたり、以上の如く本道路の開鑿は關係者畢生の事業として努力良く之を遂行したるは實に敬服する所に有之候以上概要通信申候 敬具

（大正十三年盛夏）

### 大震災の被害五十五億

震災一週年の九月一日も切迫して來た。地震ターと外に飛び出して飲まず食はずで過ごした彼の日の思出は別段記念したいとも思はぬが、只數百萬の人が同じ運命に直面して相互に扶助し合つた其の心持は永く心の記録に残したいものである。今此の大自然の惡戯に依つて木葉微塵に失はれた被害の額を見ると、一時大藏省邊では總額百億と發表したとかで外債募集に非常な影響を來したり、爲替相場に波及したりして財界に可成の問題を惹起したが、東京市で最近數ヶ月に亘つて詳細な被害額を調査した結果に依ると、東京市の三十七億

三千萬を首めに横濱市の十一億八千萬之に次ぎ東京府下、神奈川県、各官省、宮内省、其他罹災各縣の官民を通じて五十五億百五十一萬餘圓に上ると。

### 大震災から急に殖えた自動車

東京の自動車が一萬臺を突破したいといふので「うちの第一號だ」と自慢する明治屋、二號の實業家船橋氏、三號の三越などが鼻衄めかして上野精養軒で一萬臺のお祝をやつたのは此春のことであつたが夫から三四ヶ月を経た今日では優に一萬五千臺を越えてゐる、此分では二三萬に達するのは譯はあるまい。これは去年の震災當時汽車電車などの交通機關が一切ハタと停止され文明逆行の荷馬車、手車等が非常な有難いものと重寶がられた時に獨り自動車のみは隨一の文明的運輸機關として食糧輸送に、傷病者の運搬に、罹災家族の避難に素晴らしい働を示した經驗から俄に使用數が激増したもので兎角の非難はあり乍ら東京市營の圓太郎自動車五百臺近くも運轉させてゐるのは其一例で普通自動車の外小型のS B自動車や後に人に乗せるリアーカー或はサイドカーなどもドン／＼輸入され一時サイドカーの許可出額は警視廳で毎日百五十臺を超えたといつてゐる、此頃市内を疾驅してゐる自

動車は何といつてもアメリカ物が一番多く其中でもフォードは今では全國到る處の津々浦々にまでもお馴染のものだが之に次ぐのはビツク、スター、シボレーなどである、其他の種類を舉ぐればシトロエン、ハドソン、チャルマー、ドツデブラザー、フィアット、ドージ、エセツクス、フエデラル、オーバランド、オークランド、パツカード、レバブリツク、ミトレン、ブジヨ、ホワイトなどを初めとして數十種の多きに上るであらう、此等の中で揮發油の消費量が最も少くて珍重されるのがシトロエンで、最も高級とされてゐるのはロースルロイスといふのだが一臺が三萬圓以上といふ乗物だけに一寸普通では乗廻せない、宮廷用として用ひられる外民間では徳川公、岩崎男其他の間にチラリホラリと見受けるだけである、大臣諸公ではツイこの春加藤首相が天命降下當時に新型のキャデラツクを購入し世間の目を惹いた位のもので、犬養遯相などは大臣になる度毎に賃借自動車を用品ひてゐる始末で他は各省備へ付の自動車に納つてゐる、自動車の談につきものは運轉手であるが現在警視廳で調べた所では警視廳許可證を持つてゐる者が甲種一萬三千人乙種四千人外に地方許可證を持つてゐる者が多數あるから恐らく二萬人以上はあるらしい、婦人運轉手もだん／＼殖へて來たが所有主で自らドライブして荐りに通がつてゐる連中も尠くない、兎に角震災をエポックメイキングとして自動車が恐ろしい勢で増加し茲に交通機關の大革命を展開しつゝある。